



今月の記事

- 人権尊重協定
- 老施協和歌山大会
- 権利擁護推進員
- おめかしクラブ
- 今月の愛の園



浴衣に着替えて夏祭り。懐かしい縁日の風景を楽しみました。8/7

人権尊重の社会作り協定を締結

神愛会は和歌山県との間でわかやま人権パートナーシップ推進事業「和歌山県人権尊重の社会づくり協定」を締結しました。この協定は、県内にある事業所や団体が、全ての人の人権が尊重される豊かな社会の実現を目指して、従業員の人権意識高揚、個別の人権課題への対応、人権啓発活動などを、県と一緒に進めていこうとするものです。2011年度第1回の協定締結式が7月19日に和歌山県庁において行われ、宮崎靖子理事長が出席して他の18事業所とともに調印に臨みました。

神愛会での取り組みとして、高齢者の権利擁護に関する職員研修の実施、行政・関係機関が主催する人権研修への参加、機関紙やホームページでの人権啓発活動、職場内ハラスメント防止の活動などを行うこととしています。

人権尊重は、偏見や世間体から脱却し、

多様性を認め痛みを分かち合うことから始まります。全ての人々が、性別・年齢・国籍・出自・障がい・信仰・職業・雇用形態などによって差別されることなく、一人ひとり固有の尊厳と平等が守られる社会の実現のために、人々の福祉に関わる事業所として、また職員個人としても努力してまいります。取組内容の詳細は事務室にお尋ねいただくか、ホームページをご覧ください。



下宏副知事・他団体代表者と締結後の記念撮影

研修に参加しました 1

近畿老施協研究協議会和歌山大会 7/14-15

寺岡美紀 (介護職員)

近畿大会に初めて参加してきました。2日目の分科会で私が参加したテーマは『これからの認知症ケアについて』でした。8つの施設の事例発表を聞いて、『色んな認知症の方がいるんや、こんな支援の仕方もあるんや』と、興味をそられました。

認知症のケアと言われて、私にはなかなか答えが出せません。入居者さんそれぞれ認知症のタイプも違うし、それぞれケアの仕方も違いますが、私は本当にその人にあったケアが出来ているのだろうか、と考えさせられました。

各施設の事例発表はどれも素晴らしく、参考になるものばかりで、入居者さんの為という想いが強く伝わってきました。

人それぞれケアの方法は違いますが、私もその人にあったケアをしていけるように、日々考えていきたいと思えます。

久保ひろみ (ユニットリーダー)

私の参加した分科会テーマは「施設における医療的ケアとターミナルケアについて」でした。医療と介護の連携の重要性、死に向かい合う事、尊厳死と延命治療の矛盾など、誰もが1度は必ず直面する「死」について、8つの実践発表と質疑応答がありました。

最後の時を何処でどのように迎えるのか。病院ではなく、共に過ごした仲間に見守られながら・・・、という選択をされる方も多くなって来ています。

「幸せな人生だった」、「ありがとう」と穏やかな死を迎えたい、苦しまずに逝きたい、誰もがその様に願っていることでしょう。その為のプロデュースをさせていただき、ご家族の皆さんとも密接な関係を築き、職員一丸となり頑張っていきたいと考えております。

ご意見やご要望がありましたら、どんどんお聞かせください。



研修に参加しました 2

高齢者権利擁護推進員研修 千葉明大(生活相談員)

高齢者虐待防止法の目的は「高齢者の尊厳の保持」であり、それを妨げる高齢者虐待の防止が極めて重要であるとされています。

しかし、一言で高齢者虐待といっても、「身体的」「心理的」「性的」「経済的」そして「介護放棄・放任」などの分類があります。今回の研修を通じて、虐待を防ぐためには、介護をする側が正しい倫理感を持ち、ケアの質の向上を心掛け、介護を受ける側の尊厳を保持させることが大切であり、それにより自然と高齢者の方々のQOLを高めることに繋がることを学びました。

また、高齢者虐待を防ぐには介護者の負

担の軽減を図り、介護ストレスを溜め込まないことが重要だということも学びました。

講義のなかで過去に実際に起こった高齢者虐待事例も紹介されましたが、そのなかでも、身内の介護疲れから起こる虐待が大変多いように感じます。

今後、介護者のメンタルケアは大変重要な課題となってきます。施設におけるケアにおいても、どの様に職員のストレスを軽減しより良いケアを提供できるようにするかが今後の課題です。

これからも、入居者の権利擁護を担う生活相談員として、こうした研修に積極的に参加したいと思います。



生活相談員、介護・看護職員、管理者らが熱心に受講しました

支えてくださる人々 おめかしクラブ はた みちこ 羽田美智子さん

私が愛の園でボランティアをさせて頂くようになり、早いもので5年になります。月1回、第3日曜日に、お顔のマッサージ、ハンドマッサージをさせて頂いています。

9月の敬老の日には4~5名でメーキャップをしています。手伝ってくださる方はとても楽しみにしております。女性はどなたでもいつまでも美しくいたいと思っております。お肌を触ってもらうことにより、脳からα波が出て、ストレス解消、若い頃の気持ちを取り戻し、元気になり、笑い・笑顔を届けられたらと思います。

自分の技術の向上にもつながります。入居者の皆さんは「この年になってマッサージらしてもあかんよ」、「そんなベタベタするもん塗っていらんよ」と言われていても、マッサージ後は「気持ち良かったよ」、「美しくなったか」とニコツとして手を合わせて「ありがとうございます」と言ってくれます。

その時は、私も「ホット」として嬉しくなります。皆さんキメ細かく、色が白く、綺麗なのにビックリしております。やはり食事等が良いのでしょうか。

先月頃より、美顔機器を使ったマッサージを取り入れてみました。ホットマッサージなので「ホット」とする気持ち良さで、皮膚温も上がり、代謝が良くなります。もっと工夫して色々なやり方を取り入れてやらせてもらいたいと思っております。

今回、このような機会を与えて下さりありがとうございます。職員の方、家族の会でも、体験してみたいと思う方はお気軽に声を掛けて下さい。



敬老の日メイクする羽田さん

東日本大震災義援金募金
7/31までの累計216,721円
ご協力に感謝いたします

「キリストの愛を以って
互いに仕える」

社会福祉法人神愛会
特別養護老人ホーム愛の園

〒649-2103
和歌山県西牟婁郡上富田町
生馬 316-56

TEL (0739)47-1234

FAX (0739)47-4329

ainosono@shinai.or.jp

ホームページもご覧ください。
Web サイト アドレス:
<http://shinai.or.jp>

8~9月の愛の園

- 10(水) 関西国際大学お楽しみ会
- 11(木) やまびこ会
- 14(日) 日曜礼拝
- 16(火) ひまわり会
- 18(木) やまびこ会
- 19(金) 社協ボランティア
- 21(日) 日曜礼拝
- 25(木) やまびこ会
- 28(日) 日曜礼拝
- ※8月のマリア会はお休みです

- 1(木) やまびこ会
- 4(日) 日曜礼拝

編集者から

今月の記事で紹介した研修以外にも、園内外で頻りに研修を行い、職員の資質の向上に努めています。7月中には7つの外部研修に延32名を派遣し、4つの内部研修に延91名が参加しました。

先月行われた「BPSDの理解と対応(認知症高齢者の行動心理)」では、BPSDとは何か、認知症高齢者の徘徊等の行動に対して具体的にどのように接することが望ましいかについて学び、質の良いケア提供のためヒントを得ることができました。

今後も、こうした研修を通じて施設ケアの向上を図っていききたいと思います。(C)